



PEACE石川

反戦特集
N047
2014.7

反戦・平和、人権
環境の火を消すな

発行 石川県平和運動センター

金沢市西念3-3-5 Tel. 076-233-2170

ホームページhttp://i-peace-ishikawa.com/

アベ政権は アブない

川柳

- ◇ 自衛のため
先制攻撃する軍隊
国民の命 さらに危うく
- ◇ 原発に 核燃料
ミサイル一発 木っ端みじん
されど他国守りたく
集団的自衛権行使せんとす
作 無責任

地方紙3紙が賛成

7月8日北陸中日新聞によれば、全国42の地方紙の内、3紙が社説で「集団的自衛権の行使」に賛意を示した。その内訳は、北国新聞、富山新聞、福島民友新聞。

残る39紙は「反対」。全国

紙とは実に対照的な数字です。民意はまさに「反対」なのです。遡れば、石川は「原発推進派」が多いという記事は某紙の影響と言うべきか、はたまた行政の姿勢か、反対運動の弱さからか。

石川の常識、全国では非常識

平和の順位

代表代行 糸矢 敏夫

イギリスのエコノミスト紙が発表している世界平和度指数というのをご存じですか。過去5年間の国際紛争及び内戦の数、近隣諸国との関係、政情不安、殺人事件の数、GDPに対する軍事費の割合など24項目を調べ、イギリスの経済平和研究所が出した指数です。

日本の順位は11年3位、12年は5位、13年は日本は6位と非常に高い順位であったが、安倍政権になって明らかに順位が低下しています。24項目の中には軍人数や通常兵器の輸入量や輸出量も入っています。国家安全保障会議で12月に決定した中期防衛計画や4月に閣議決定した武器輸出三原則の見直しを考えると、「集団的自衛権の閣議決定」を強行した14年度の日本の平和度指数はさらに低下しそうです。

ちなみに昨年最下位の162位はアフガニスタン、161位はソマリア、160位はシリアです。ロシアは155位、北朝鮮は154位、中国は101位、アメリカは99位となっており、信憑性がある指数だとは思いませんか。平和憲法があるから、これまでは非常に高い順位だったのです。この順位が守れるように運動をすすめていきたいと考えています。

延べ2400人参加

5月以降、7月3日の「閣議決定撤回！」緊急集会まで、実

に16回・16日(間)、延べ2400人の参加で「戦争する国づくり」阻止! 「武力行使」反対! の闘いを創り出してきました。昨秋の「秘密保護法反対」闘争を上回る取組みとなりました。ありがとうございました。

しかし、闘いはこれからです。戦争実施法の「改正」阻止に向けて再度決起を!

闘いの軌跡



6月11、21日ピケット



6月18日
閣議決定阻止!



7月3日
閣議決定撤回!
緊急集会

戦争実行10法「改正」・新法「国家安全保障基本法」の

成立を阻止するぞ!!

国家安全保障基本法 自衛隊法 武力攻撃事態法 国民保護法 海賊対処法 防衛省設置法
 国家安全保障会議 (NSC) 設置法 国連平和維持活動 (PKO) 協力法 船舶検査活動法 米軍活動円滑化法

自民党以上に批判を浴びる
「平和の党」公明党

「平和の党」から
「戦争する党」に変質か?

〈新聞記事から抜粋〉

公明党は、自党の安泰と国民の命と暮らしを天秤にかけ、戦後69年の平和の土台にアリの一穴を開ける側に回った。

これで終わったわけじゃない。

集团的自衛権反対を口にしたが、結局はそれを受け入れたことは公党として支持者、国民に対する裏切りであった。そしていま、その裏切りを糊塗するためにあれこれと裏切っていないと喧伝する。

これは今回の内閣決議に対する警戒解除を促す卑怯姑息な裏切り行為である。

嘘に嘘を重ねるその姿は、国民の命と暮らしに直接に影響を与える政権政党どころか、国民との約定の上に立つ公党としての資格を自ら投げ出すものである・・・

新聞の表現をそのまま表記しているが、かなり痛烈な批判である。期待の裏返しなのか、政権与党であり平和の党を売りにしてきたことの所以であろうか。

金沢市長が 庁舎前広場を 貸さない？

市民の表現の自由を、「示威行為」として否定



この「軍事パレード」に反対する者には広場を貸さない？
どちらが違反者でしょうか！

自衛隊の宣撫工作の一つである「軍事パレード」が47年ぶりに金沢市内で5月24日に行われることが報じられた。しかも陸海空三自衛隊の合同のパレードであり、安倍首相の「戦争する国」へ向けた強烈なメッセージとして私達は受けとめ、パレードの中止要請と中止を求める集会を企画した。

5月19日に金沢市役所前広場で「軍事パレードの中止を求める」集会を行うため、金沢市に

広場の使用許可を申請した。ところが、金沢市当局は、従来から原水禁運動や憲法改悪反対集会などに使用を許可してきた庁舎前広場を、今回は貸さないと断ってきたのです。

その理由は「政治的行為」に該当する、「市の姿勢に合致しない」、「『ある一定の行為に賛否』がある時は両者ともに広場を貸さない」など、従来認めてきた集会とどこが違うのかわからない理由で貸さないと断ってきたのです。公平・公正を旨とする行政機関の取るべき姿勢でしょうか。

従来からの関係を「断ち切る」ような今回の事態は、安倍首相の「戦争する国」へ突き進む政治状況と無関係ではなく、いわゆる地方自治体の中央政府を慮った「自主規制」と言わざるをえません。

当然にも「異議申立書」を提出して再考を促したわけですが、「不許可理由」の変更はありませんでしたが「不許可」は取消しませんでした。異議申立に対する「却下決定書」には次のように記されています。

「特定の個人、団体等の主義主張や意見等に関し賛否を表明することとなる集会を開催することは、金沢市庁舎等管理規則第5条12項に定める示威行動に該当する」と。

背後にいる安倍首相の「高笑い」が聞こえてきそうですが、私達は、できる限りの力を発揮してこの動きを阻止するため、法的手段に訴えていきます。なにとぞ支援を。

憲法21条

- ◇ 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。
- ◇ 検閲は、これをしてはならない。通信の秘密は、これを侵してはならない。

ミサイル艦二隻
珠洲港で公開
灯籠山祭りにも参加

海自は「殺人兵器」を見せ物にするな！
本年1月、海自は「釣り舟」を沈没させ、2人を死に追いやりました。その事故を原因も責任もウヤムヤにし、「戦争する国」の軍隊として市民生活に与える被害を全国で再開しています。
なんと、珠洲市の灯籠山（とろやま）祭りに「引き手」として参加しようと言っています。

中央政府を慮った、地方自治体の「広場貸し出し不許可」撤回！ 自衛隊のミサイル艦「体験乗船」をやめろ 戦争する軍隊の市民社会“とけこみ”反対！

まさに、「軍隊」が市民権を得るために。安倍首相は「自衛隊は名実共に軍隊、それに合わせた法整備をするべき」と、過去に「軍隊ではなく自衛隊」と誤魔化してきたことを何ら反省することなくそう言い切っています。

「殺し、殺される」ことを言とする軍隊が、楽しい祭りに「軍服」を脱いで「引き手」として参加することは許せません。

パロディ一作

「本官も再稼働に反対です」



編集後記

- ◆5月に「志賀原発特集」を出す予定でしたが出せませんでした。NO48で再度挑戦します。
- ◆志賀原発のS1断層。「廢炉」訴訟でも、北電はいまだに反論しない。できる材料がないのか、引き延ばしか？
- ◆「私が最高責任者だ」と、憲法さえ「解釈変え」し専制的な「閣議決定」をした安倍首相。一方、中国を念頭に「法の支配」を繰り返す安倍首相。一貫性がなく手前勝手なご都合主義です。
- ◆公明党へのバッシングが止まない。「平和の党」を問う事態になっています。自ら招いたことでもありますが。
- ◆自民党「8事例全て可能」、公明党「全てではない」。きつねと狸の「ばかしあい」だが、私達は騙されない！
- ◆公明党山口代表は「集团的自衛権の行使を認めたわけではない」とまで会見で言っている。言い訳であり無責任の極みです。
- ◆「集团的自衛権の行使」とは、まさに「戦争に参戦し、殺し殺されること」なのだ！
- ◆そんなこと、安倍首相は決して語りません。「戦争なんてしません」と素知らぬ顔でいいます。
- ◆しかし、安保法制懸念のメンバーは言います。「血が流れることは当然だ」「自衛隊はそのためにある」と。
- ◆戦争屋の跳梁跋扈を許してはなりません。NT